



ふじわら ちよ
藤原 知予 准教授

〰 出身地 兵庫県西宮市 〰

専門分野

英文学

特に19世紀英国の小説家ジョージ・エリオットと
20世紀英国小説家D・H・ロレンスの作品の研究と翻訳

Q 担当科目を教えてください。

A

【 英語文学研究 】

ヴィクトリア朝女流作家ジョージ・エリオットのSilas Marner: The Weaver of Raveloe を精読して文学的解釈の方法を学びつつ、社会背景や文化と関連付けて考察し、そのプロセスを通して異文化コミュニケーションに対する理解を深めることを目指す授業です。

【 Extensive Reading 1・2 】

教室に設置してある多読図書と、インターネット上で無料で読めるストーリーサイトを併用し、英語をたくさん楽しみながら読むことを通して、英語を英語で即理解する感覚を身につけることを目指す授業です。

Q 専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

A

私は人間が他者に「共感する」ということがどういうことなのかを、英文学作品の解釈を通して研究しています。例えば私が専門としている19世紀英国作家のジョージ・エリオットの作品の中では、生まれの違いや、常識や価値観の違い登場人物同士でも、想像力を使って相手の悲しみや苦しみに寄り添う努力をする行為として「共感」が描かれているように思います。他の作家の作品では、どのような意味で「共感」が描かれているかをこれからも探っていきたいと思っています。



Q

先生の人となりを教えてください。

A

私は、明るく社交的な性格で、学生さんと授業内外でお話をするのが大好きです。プライベートでは、2人の幼い子どもの母ですので、学生さんと接するときに、ついつい勝手に母のような気持ちになって世話を焼きすぎてしまうことがあります。学生さん全員が楽しく授業や研究に取り組んでくれるようなクラスの雰囲気づくりに努めています。私の作るテストは難しいとよく言われますが、評価は甘い方だと自負しています。

Q

学生のみなさんへメッセージを！

A

国際学部は少人数制で教員と学生さん、学生さん同士の距離が近い、温かい雰囲気の学部です。たくさんの友達や先生に声をかけているんな話を聞いて、視野を広げてください。自分の考えや思いを人に話して、なりたい自分の姿を見つけていってください。社会に出る前の最後の学びの場として、精一杯知識を吸収し、深く考え、それを表現する力をみなさんが身につけられるよう、教員としてぜひお手伝いさせていただきますね。